

# 都市のヒートアイランド調査に関する研究

建築環境・設備学研究室

工学部建築学科・准教授 中山哲士

&

協力: 首都大学東京、マルティスブ株式会社

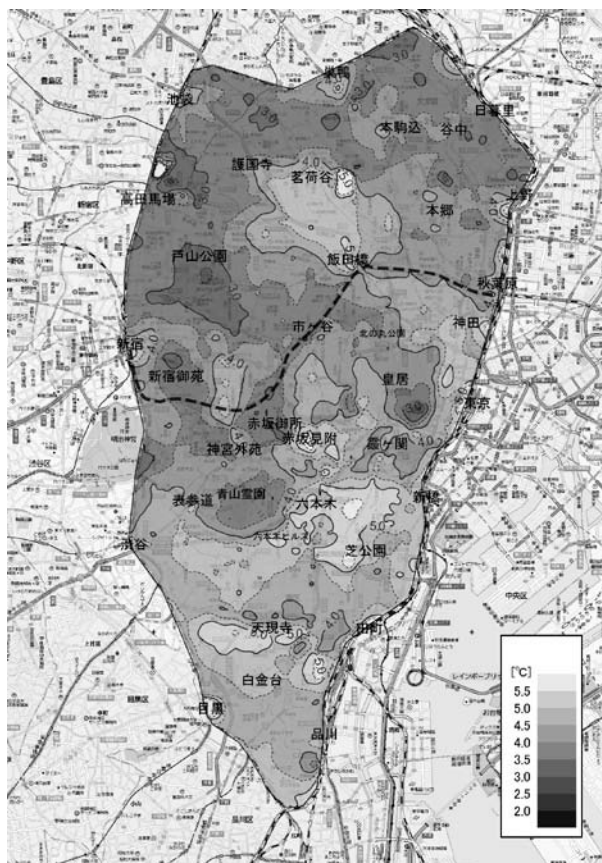
**Keywords:** ヒートアイランド・クールスポット調査、クリマアトラス、データ共有

都市のヒートアイランド現象の実態を実際に歩いて調査します。

調査には小型の GPS (Global Positioning System : 全地球測位システム) と温度記録計を持って街の中を調査します。徒歩での調査の他、自転車、自動車、オートバイなどを利用することもできますが、自動車、オートバイなど自身が発熱するものについては排熱の影響を温度計が拾わないようにする等の注意が必要です。

通常、複数の測定者が同時に違ったルートを歩いて測定します。得られた位置情報と温度の記録から地図上に温度分布のマップを作成します。こういった図はクリマアトラス (都市環境気候図) といって、地域の暑さ対策や大気環境を考慮したまちづくりに活用するための資料となります。

結果はなるべく早く一般に公開し、そこで暮らす市民と情報を共有する必要があります。本研究では、測定データを Web にアップすると、すぐに結果が GoogleMap©上に温度分布が表示されるシステムを開発しました。市民は自由にそこにアクセスし、自分たちが暮らすまちのヒートアイランドの状況を知ることになります。日々の暮らしの中でちょっとした工夫でまちの快適な環境を創る一つの材料になると考えます。



東京都 JR 山の手線内側の外気温度(2006 年 1 月 27 日午前 2 時)。ヒートアイランドの温度差は冬の明け方型に顕著に表れる

【連絡先】: 岡山理科大学 工学部 建築学科 : 中山哲士

Tel/Fax: 086-256-9437, Email: nakayama@archi.ous.ac.jp